

丸子地域自治センター

令和7年度 重点目標

- 1 農業振興による地域活性化の推進
- 2 地域に根ざしたまちづくりの推進
- 3 地域の観光振興及び産業活性化の推進
- 4 人と環境に優しい地域づくりの推進

令和7年度 重点目標管理シート

重点目標		農業振興による地域活性化の推進		部局名	丸子地域自治センター	優先順位	1 位		
総合計画における位置付け		第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第1章 次世代へつなぐ農林水産業の振興 第2節 農林業の安定的な生産体制の整備と産地化の促進		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	日本を代表する循環型社会をつくる DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる				
第四次上田市行政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 (2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 (3) 時代に即した行政運営への改革 ウ市有財産の適切な管理と利活用 イ人材の確保・育成と職員の意識改革							
現況・課題	平井寺トンネルや三才山トンネルが無料化され交通量が増大している国道254号沿線は、道路利用者の休息機能や情報発信機能及び有事での待避所(防災等の拠点)の設置と、それに合わせて、上田地域の特産物(農産物やお土産)を効率的に販売・PRする場の整備が求められています。 陣場台地周辺は、有機物リサイクル施設建設が計画されており、これに併せて周辺地域の観光振興及び環境に配慮した施設整備が求められています。 上田市の初代ワイナリーとなる「梶子ワイナリー」は、地域の新たな魅力や経済的な効果を生み出し、また、キリングループとのワイン産業振興を軸にした地域活性化に関する包括連携協定に基づき、ワイン産業の活性化やワイン文化の醸成を通じて、地域産業や観光振興の発展が期待されています。 優良農地である上長瀬・下丸子地区は農業基盤が未整備であり、作業性の悪さや農業従事者の高齢化などにより、年々耕作放棄地が増加する一方となっています。また、中山間地区においては、農業基盤の老朽化への対応が求められています。								
目的・効果	道の駅整備に係る直売所等の振興施設設置により、地域産業の活性化を図ります。 陣場台地周辺は景観に配慮した畜産振興、遊歩道等の整備に係る検討を進め、地域の新たな魅力づくりに繋がります。 梶子ワイナリーほか、地域のワイン産業を中心として地域農業及び経済の活性化を図ります。 上長瀬・下丸子地区の農業基盤整備による農地集約化を促進すると共に、中山間地域における遊休農地の発生防止・解消を目指します。				該当するSDGsの目標				
	取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度)及び (中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)		期末報告(目標に対する達成状況・達成度)			
①	【道の駅整備による地域活性化】 (1) 事業計画精査による基本計画策定の推進	(1) 4月～3月	(1) 3月までに基本計画を決定	(1) 基本計画の策定にかかる庁内会議 (計12回:9月末時点)		(1) 基本計画策定にかかる庁内協議(計14回)開催も同基本計画について「抜本的見直し」へ、事業開始については当面先送りの結論に至る(地元説明会5回) 地元では新たな団体が設立され、対話は継続			
②	【陣場台地周辺整備】 (1) 有機物リサイクル施設建設に向けての協働 (2) 地域振興事業の推進	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 調整会議等への参画 (2) 陣場台地土地利用検討会による整備事業実施(1件以上)	(1) 会議開催なし(2月予定) (2) 陣場台地景観整備作業として放牧地整備 (1回:4月)		(1) 調整会議開催(1回:12月)、有機物リサイクル施設建設事業は当面先送りの結論に至る (2) 景観整備作業(放牧地整備)実施(1回、4月)			
③	【ワイン振興の推進】 (1) 梶子ヴィンヤード・梶子ワイナリーと地域との共生推進 (2) 地域内ワイン産業の振興 (3) キリングループとの包括連携協定に基づく官民連携	(1) 2月まで 4月～10月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) ワインイベントの開催 (延べ参加者700人以上) ワイン用ぶどう農作業体験の開催 (延べ参加者300人以上) (2) 地域内ワイン生産者等との連携によるイベント開催(延べ参加9社以上) (3) メルシャン㈱との人材交流職員による地域活性化事業の推進(1件以上)	(1) 信州ルネッサンス等ワインイベントへ参加 (計2回:9月末時点)(延べ800人参加) ワイン用ぶどう農作業体験の開催 (除葉6日、収穫4日:9月末時点)(延べ419人参加) (2) ワインイベントを1回開催してワイン生産者2社が参加(6月) (3) 上田市民限定ワイン発売への参画 (内容検討及び広報実施)(6月) 上田市民限定ワインの販売PR実施 (信州ルネッサンスへ参加)(6月)		(1) ワインを楽しむ会inサントミューゼ等のワインイベントの開催支援(計4回)(延べ2,720人参加) ワイン用ぶどう農作業体験支援 (除葉6日、収穫6日)(延べ577人参加) (2) ワインイベントの開催(6月:信州ルネッサンス、2月:ワインを楽しむ会)(ワイン生産者延べ11社参加) (3) 上田市民限定ワイン発売への参画、販売PR実施ほか、同ワイン1,850本完売の達成(12月) 交流職員による相互連携を強化			
④	【地域特性を活かした農業振興】 (1) あさつゆとの協働による地産地消の推進 (2) 上長瀬・下丸子地区未整備農地の営農計画の検討 (3) 担い手への農地の集積・集約化 (4) 新規参入農業者への促進支援	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月 4月～3月	(1) 地産地消PRイベントの開催 (延べ参加者300人以上) (2) 農地利用会議での検討推進 (3) 農地流動化促進(15ha以上) (4) 認定新規就農者等の支援 (2人以上) 地域おこし協力隊起業支援と新規隊員の採用	(1) イベント開催なし(11月予定) (延べ参加者442人) (2) 会議開催なし(12月予定) (3) 農業委員と各地域ごとの貸付希望農地及び中心経営体情報の共有会議開催(計6回:9月末時点) (4) 認定新規就農者2人、初期投資促進事業2人を支援 おためし地域おこし協力隊等を実施して新規隊員を1名採用		(1) 地産地消イベント開催(11月、801人参加) (2) 農地利用会議開催(1回:3月)、基盤整備事業導入に向けて来年度以降も検討継続を確認 (3) 農業委員と各地域ごとの貸付希望農地及び中心経営体情報の共有会議開催(計12回) 担い手への農地の集積を7.9ha実施 (4) 認定新規就農者2人、初期投資促進事業2人を支援 地域おこし協力隊1名採用			
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 上長瀬・下丸子地区の地権者代表等の市民参加による遊休荒廃地の解消に向けた営農計画の検討推進 丸子まちづくり会議との協働による陣場台地整備計画の策定推進			○取組による効果・残された課題					

令和7年度 重点目標管理シート

重点目標		地域に根ざしたまちづくりの推進		部局名	丸子地域自治センター	優先順位	2位
総合計画における 位置付け		第1編 市民が主役のまちづくり 第1章 自治の推進による活力ある自立した地域社会の実現 第1節 参加と協働による自治の推進		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」に おける位置付け		福祉を充実し、多様性を尊重した地域共生社会を実現する	
第四次上田市行政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり エ 広域連携の推進					
現況・課題	地域内分権による地域の自治のさらなる推進を目指し、「丸子まちづくり会議」や地区会議と連携・協働による事業の取組が求められています。 丸子地域の特色ある地域づくりについては、木曾義仲継承活動や公共施設再配置構想等に関する研究・検討が課題となっています。 上田市商工会・丸子修学館高校とのパートナーシップ協定による連携事業については、連携の深化が課題となっています。 西内・平井地区を中心とする公共施設の廃止や老朽化に伴う利活用については、幅広い意見や要望を聞き、公民連携事業含めた検討を進めています。 建築後46年経過した丸子地域自治センターの老朽化した設備改修も課題となっています。						
目的・効果	丸子まちづくり会議と行政が協働した事業に取組むことにより、地域課題の解決や地域活性化につなげます。 西内・平井地区の公共施設利活用については、地域意見の傾聴・集約を進め、計画等にまとめることで地域活性化へつなげます。 自治センターの老朽化した設備改修を進めることにより来庁者や地域住民に安心感と快適性を実感いただく共に、地域防災の拠点施設として 災害対応の機能・効果を発揮することができます。			該当するSDGsの目標	4 質の高い教育を みんなに 8 働きがいも 経済成長も 17 パートナーシップで 目標を達成しよう		
	取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度)及び (中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)		期末報告(目標に対する達成状況・達成度)	
①	【地域課題解決に向けた取組】 (1) 丸子地域公共施設の在り方検討 (西内小、コミュニティセンター西内など) (2) 地域防災力向上の取組 (3) 丸子修学館高校と上田市商工会とのパートナーシップ協定に基づく取組	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 西内小周辺利活用検討推進 丸子地域公共施設の在り方及び 公民連携の研究推進 (2) 上田市防災訓練の実施(8月) 自主防災リーダー研修会の実施 (2月) (3) 協定に基づく事業実施(3事業)	(1) 西内小周辺利活用検討委員会開催 (3回:4月、5月、7月) 旧西内小の利活用に関するサウンディング調査を実施(10/9-10) (2) 丸子中央小学校会場(8/30)(202人参加) 自主防災リーダー研修の開催準備 (3) 10事業実施予定(9月末時点:6事業実施) (センターだより記事掲載、依田川リバーフロント事業、各種イベントへの参加 等)		(1) 西内小周辺利活用検討委員会開催 (4回:4月、5月、7月、12月) 旧西内小の利活用に関するサウンディング調査を実施 (10/9-10)(提案2件) (2) 防災訓練実施:丸子会場(8/30)(202人参加) 自主防災リーダー研修開催(2/19)(58人参加) (3) 協定に基づき全11事業を実施 (センターだより100号記念特集、依田川リバーフロント事業、就業体験、各種イベントへの参加 等)	
②	【参加と協働による住民自治の推進】 (1) 住民自治組織への支援・協力・連携 (2) 依田川リバーフロント事業の推進	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 活動に対する人的支援、事業協力 会議へ出席し地域課題などの情報共有 (2) 広場を周知し活用イベントを開催	(1) 役員会等の会議への参加(12回)及び助言 新組織設立に向けた準備会への参加(4回) (2) 信州爆水RUNでの活用及びPRブース出展 川の絵・写真作品の募集 活用イベントの開催(9/23)(56人参加)		(1) 役員会等の会議への参加(24回)及び助言 新組織設立に向けた準備会への参加(14回) (2) 信州爆水RUNでの活用及びPRブース出展 川の絵・写真作品の応募作品の3会場での展示(R7.12～R8.2) (応募作品全24点) 活用イベントの開催(9/23)(56人参加)	
③	【丸子地域自治センター整備】 (1) 自治センターの設備改修工事の取組 (2) 自治センターの北棟解体の取組	(1) 4月～9月 (2) 4月～3月	(1) 設備改修工事の完了 (2) 北棟解体実施設計の完了	(1) 工事完了 100%(7/31) (2) 実施設計委託発注済(R7.6.16～R8.3.1)		(1) 機械設備・電気設備工事完了 100%(7/31) 温度管理表を作成し各フロア適正温度の管理を行った (2) 実施設計委託発注済(R7.6.16～R8.3.1) 実施設計委託完了 100%(3/1)	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

令和7年度 重点目標管理シート

重点目標		地域の観光振興及び産業活性化の推進		部局名	丸子地域自治センター	優先順位	3位
総合計画における位置付け		第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第1節 新しい産業の創出と中小企業者の経営力強化 第2節 地域経済を牽引する工業(ものづくり産業)の振興 第3節 賑わいと活力ある商業の振興 第3章 魅力ある観光地づくり 第1節 おもてなしで迎える観光の振興		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け		DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる	
第四次上田市行政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり					
現況・課題	鹿教湯温泉・大塩温泉・霊泉寺温泉からなる丸子温泉郷は、かつては国民保養温泉地として豊かな自然や医療機関との連携などの地域特性を活かし、多くの宿泊客で賑わいましたが、温泉保養事業の終了など、時代の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により観光客の減少が続いています。また、老舗旅館の廃業など、地域を支えるマンパワーも不足しつつあります。空き店舗・空き家も増え、事業承継も必要とされています。昨年度条例廃止し閉館した鹿月荘・クアハウスについては、今後の利活用と併せて、鹿教湯温泉全体の魅力向上を図る事業を検討していく必要があります。こうした状況の中、丸子温泉郷では若い世代の旅館経営者などの複数のグループによる「地域の活性化」という共通目的の実現に向けた様々な活動が継続されています。商工業においては、地域内の人口減少、後継者不足の他、全国的な物価高・原材料高など経営環境が悪化する中、新たな販路開拓や地域の賑わいの創出が課題となっています。また、農業生産基盤整備未整備地区である上長瀬・下丸子地区は、新たな産業団地としての整備が求められています。						
目的・効果	丸子温泉郷は「健康の湯」「回復力の湯」として、国民保養温泉地指定の健全な保養地というイメージを大切にしながら、現代のライフスタイルに合った滞在型観光の魅力をもPRし、地域おこし協力隊の活動も加え、来客数増加を目指します。産業全般においては、行政、上田市商工会、地域住民、地元事業者が一体となり振興を図ります。また、農業生産基盤整備未整備地区においては、地域未来投資促進法による重点促進区域に指定して、産業団地として整備を推進します。			該当するSDGsの目標	3 すべての人に健康と福祉を 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう		
	取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度)及び (中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)		期末報告(目標に対する達成状況・達成度)	
①	【観光施設の再活用に向けた取組等】 (1) 鹿月荘・クアハウスに係る今後の方針検討 (2) 鹿教湯温泉全体の魅力向上に係る計画の検討 (3) 丸子物産館の運営支援	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 方針決定に向けた協議等の実施 (2) 計画策定に向けた協議の実施 (3) 信州国際音楽村周辺に係る情報発信等による誘客推進	(1) 市政経営会議で施設譲渡の方針を決定(5月) 9月議会で不動産鑑定に係る補正予算議決 (2) 鹿教湯温泉100年ブランド`創造プロジェクト会議で検討(2回) (3) 周辺イベント情報をインスタグラム(2回)×(2回)配信		(1) 鹿月荘・クアハウス譲渡に係る「公募型プロポーザル」の実施(3月16日公募開始、決定はR8.7以降を予定) (2) 鹿教湯温泉100年ブランド`創造プロジェクト会議(2回)、鹿教湯観光協会と協議(1回) 令和8年度辺地総合整備計画の西内辺地に2か所登載 (3) 周辺イベント情報配信(インスタ`ラム3回、X3回) 信州国際音楽村エリア連絡協議会設立	
②	【観光地域の魅力向上の取組】 (1) 丸子温泉郷への誘客に向けた取組推進 (2) 地域内観光資源の連携推進 (3) 遊休不動産の利活用	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 観光協会と連携した事業の企画運営 (2) 専用タブレット等を利用した情報発信：週1回配信 (3) 遊休不動産の現況調査・把握	(1) 鹿教湯ボールウォーキング開催(5/24)(50人参加) (2) 地域の観光情報 インスタグラム(28回)とX(30回)で配信 (3) 鹿教湯温泉街の現地確認実施(4月、3件)		(1) 鹿教湯ボールウォーキング(50人参加)、食・浴の秋祭り(800人) 観光庁補助事業実施 (2) 地域の観光情報の配信(インスタ`ラム53回、X54回) (3) 鹿教湯温泉街の現地確認実施(4月、3件)(5月、1件)	
③	【地域の伝統を活かした賑わいの創出】 (1) 夏祭り開催と花市への支援 (2) 木曾義仲拳士の地のブランド化	(1) 8月 (2) 4月～3月	(1) 目標来場者数7,000人 (2) 木曾義仲伝承事業の実施 R8武者行列に向けた機運醸成	(1) 丸子ドドンコ開催(8/2)(来場者2,000人) 花市開催(8/12)(来場者5,500人) (2) 義仲手ぬぐい・うちわ作製配布(各2,000枚) げんきまるこ産業フェスタのぬりえコーナー出展準備		(1) 丸子ドドンコ(8/2)(来場者2,000人) 花市(8/12)(来場者5,500人) (2) 義仲手ぬぐい・うちわ(各2,000枚)、義仲のぼり(100枚) 義仲しおり(4,000枚)、バンフレット(5,000部)、げんきまるこ産業フェスタのぬりえコーナー出展(来場者数119人) 丸子地域小学4年生に義仲漫画、しおり配布	
④	【産業団地整備による産業振興】 (1) 産業団地整備に向けた事業の推進	(1) 4月～3月	(1) 地域未来投資促進法に基づく関係者等の協議実施	(1) 3社合計24回協議実施 2社は売買契約終了(5月、9月) 1社は造成工事開始(9月)		(1) 3社合計33回協議実施 2社は売買契約終了(5月、9月) 1社は造成工事開始(9月) (全体の約10%)	
⑤	【企業の経営力向上の取組】 (1) 上田市商工会と連携した産業支援 (2) 販路拡大を目的とした展示会への出展支援 (3) 丸子地域の工業振興に向けた取組	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) げんきまるこ産業フェスタ運営 ほか支援 (2) 展示会出展支援3社 (3) 工業3団体の事業支援	(1) げんきまるこ産業フェスタ事務局会議開催(2回) (2) 展示会出展1社 (3) 親睦ゴルフ大会(7月)、正副会長会(10月) 産業ミライフェス in UEDA 25出展支援準備(7社)		(1) げんきまるこ産業フェスタ開催(10/11)・事務局会議(3回) (2) 展示会出展18社 (3) 諏訪圏工業メッセ出展支援(6月)(3社) 産業ミライフェス in UEDA 25出展支援(10月)(7社) テクニカルショー横浜出展支援(2月)(8社)	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

令和7年度 重点目標管理シート

重点目標		人と環境に優しい地域づくりの推進		部局名	丸子地域自治センター	優先順位	4 位
総合計画における位置付け		第1編 市民が主役のまちづくり 第3章 地方分権にふさわしい行財政経営 第1節 行財政改革の推進と住民サービスの充実 第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第1章 豊かな環境を未来につなぐ 第2節 循環型社会形成の推進 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第6節 犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進 第4編 ともに支え合い健やかに暮らせるまちづくり 第1章 自分らしい豊かな人生を送る健康づくり 第1節 健康都市を目指した健康づくり事業の推進		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け		日本を代表する循環型社会をつくる DXやGX等の革新的技術でSDGsを推進、人と自然が調和した活力あるまちをつくる 福祉を充実し、多様性を尊重した地域共生社会を実現する	
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け			(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革				
現況・課題		○環境負荷を低減する循環型社会形成のために、家庭や事業所における取組として、修理や再利用によるごみの発生抑制を優先したライフスタイルへの転換、プラスチックごみ等の適正な分別による再資源化の推進などが求められている。 ○特殊詐欺被害件数、被害額が急増している。高齢者以外の被害者も増加しており社会問題となっている。 ○築27年を迎えた丸子福祉センターは設備の不具合や施設の老朽化も目立つようになり、設備が度々停止し利用者に不便をかけている。 ○国は令和4年度末にはほとんど全ての住民がマイナンバーカードを取得することを目標としていたが、上田市における令和6年度末保有率は約76%である。					
目的・効果		○「第二次上田市総合計画(後期まちづくり計画)第2編 自然・生活環境・安全安心な快適環境のまちづくり」に掲げる施策等を推進し、環境負荷を抑え、持続的な発展が可能な循環型社会の形成を具現化することをめざす。 ○巡回パトロールや広報、機器の購入補助などを行うことで特殊詐欺等の犯罪を防止し、犯罪被害者の減少をめざす。 ○地域の福祉、ボランティア活動及び保健医療サービスの拠点である福祉センターの快適性・安全性の向上及び長寿命化を図る。 ○マイナンバーカードの普及により、コンビニエンスストアでの証明書交付等の利便性の高い行政サービスを受用できる市民が増える。		該当するSDGsの目標		7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を	
取組項目及び方法・手段(何をどのように)		期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度)及び (中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)		期末報告(目標に対する達成状況・達成度)	
①【可燃ごみ減量化に向けた取組】 (1) 生ごみ減量化施策の啓発 ・生ごみ減量化機器の普及促進 ・ばっくんやEM菌など生ごみ堆肥化事業の普及促進 (2) 古布類の再利用促進		(1) 4月～3月 (2) 11月	(1) 生ごみ減量化機器補助件数40件 ・支給(ばっくん)件数120件 普及イベントの共同開催年6回 (2) 古布回収量 1,000kg	### ごみ減量化機器補助件数 43件 (処理機 24件、容器 19件) ばっくん支給 42件 普及イベントの共同開催 5回 (2) 丸子地域消費生活展(11/22)にて古布類回収予定 新たに庁舎内窓口横に古着回収BOX設置(4月～) (回収品はファーストビルで譲渡)		(1) 生ごみ減量化機器補助件数 59件 (処理機 33件、容器 26件) ばっくん支給 113件 普及イベントの共同開催 8回 (2) 古着回収量3,070kg(消費生活展 1,310kg、常時 1,760kg) 古着譲渡会開催(常時：ファーストビル1階、臨時：福祉施設2回、ハッピーマルシェ1回、消費生活展1回)	
②【防犯・防災意識の高揚と被害防止の推進】 (1) 青色灯パトロールによる防犯パトロールの実施 (2) 防犯・交通安全の啓発		(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) パトロール実施 年40回 (2) 消費生活展出張等広報活動	(1) パトロール実施 21回/地域 詐欺防止広報 4回/地域(防犯パトロール時) (2) 丸子TVにてヘルメット着用啓発放送 丸子有線放送にて詐欺防止啓発放送：2回 高齢者ヘルメット補助：4件 特殊詐欺被害防止機器補助：2件		(1) パトロール実施 42回/地域 詐欺防止広報 6回/地域(防犯パトロール時) (2) 丸子TVにてヘルメット着用・詐欺啓発放送 丸子有線放送にて詐欺防止啓発放送：3回 高齢者ヘルメット補助：10件 特殊詐欺被害防止機器補助：4件	
③【丸子福祉センター整備】 (1) 設備等改修工事 ア 空調改修工事 イ 外壁改修工事 ウ LED化改修工事		(1) 4月～3月	(1) 設備等改修工事の完了	(1) 入札(6/20)により受注者決定 工事進捗率:空調改修工事 3%、外壁改修工事 50%、LED化改修工事 3%		(1) 空調・外壁・LED化すべての改修工事完了	
④【マイナンバーカードの普及促進】 (1) マイナンバーカード保有枚数率の向上		(1) 4月～3月	(1) 本庁及び各自治センターと連携した普及促進 保有枚数率：80%	(1) マイナンバーカード保有率 78.4%		(1) マイナンバーカード保有率 80.8%	
特記事項		○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		